

令和7年度第1回地域職業能力開発促進協議会における協議結果の報告

労働局 番号	労働局 名	(a) 地域の人材ニーズの把握	(b) 公的職業訓練の実施状況の検証	(c) 訓練効果の把握・検証等	(d) その他の職業能力開発促進のため の取組	(e) 地域職業訓練実施計画の策定方 針（次年度計画に関すること）
35	山口	<p><意見等> ◎学校法人YIC学院から文部科学省委託事業「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」となる『観光・料飲・サービス業等の階層別リスクリングのモデル構築事業』が3年目（最終年度）における①募集・広報、②開発プログラムの進捗状況、③改善点・工夫点などの概要について説明 ◎国立大学法人山口大学及び公立大学法人下関市立大学から両校で実施・開講しているリカレント教育講座の概要について説明 ◎山口県中小企業団体中央会から当協会が実施した「中小企業のDX・デジタル化推進に関する実態調査」に係る調査結果について報告・説明 ◎上記説明に対し、委員からの特段の意見なし</p>	<p><意見等> ◎令和6年度における公的職業訓練の実績について、山口県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山口支部及び労働局から説明 ◎意見1 山口県におけるIT系分野の企業進出の状況について</p>	<p><意見等> ◎概要説明 令和6年度は、「IT分野」を検証し、以下のとおり概要を説明 ・訓練実施機関は、学習の定着や就職支援に向けた工夫をはじめ、訓練の目的を意識付けを行っている。 委託訓練や求職者支援訓練について常設の施設内訓練に比べ認知度が低いという意見もあった。 ・企業側は、データ分析や情報セキュリティの知識をはじめ、ビジネスマナーなどが業務に役立っているという意見があった。 ・訓練生からは、WEBデザインやVBAなどは、今の職場では活かされていないが、将来的に生かしたいという意見があった。 ◎デジタル技術に関する基礎知識が求められていることから、現場で即戦力となる基礎人材の育成が強く求められている。 ◎カリキュラムでは、生成AIの基礎知識や活用方法について学ぶ機会を導入することが必要 ◎検証・結果について、委員からの意見なし</p>	<p><意見等> ◎「教育訓練休暇給付金」制度の説明 ◎「リ・スキリング等教育訓練支援融資」制度の説明 ◎地域におけるリスクリング推進事業について説明 ◎ハロートレーニング周知イベントへの実施報告</p>	<p><意見等> ◎令和8年度計画方針（案）では、訓練規模について、あくまで現時点の暫定数とした上で、委託訓練の定員減、求職者支援訓練の上限値増の可能性のある旨を説明 ◎応募倍率が高く、就職率が低い、「営業、販売、事務分野」を取り上げ、積極的なキャリアコンサルティングの活用を促し適切な職業相談や受講斡旋を行う。 ◎そのほか令和7年度計画を概ね踏襲、継続することを説明 ◎令和8年度から全国展開する「非正規雇用労働者が働きながら学べる職業訓練」について説明 ◎意見1 今年度の募集状況が低調な学卒者訓練について、来年度も同程度の規模とあるが、如何に。</p>
		<p><対応方針> ◎特になし</p>	<p><対応方針> ◎平成27年度以降、山口県内に約60社が進出、山口市に10社、岩国市が15社、萩市に8社という状況</p>	<p><対応方針> ◎特になし</p>		<p><対応方針> ◎意見1 来年度計画については、予算編成の最中。特に自動車整備科については県内からのニーズが高いことから計画数を維持していく必要があると考えている。</p>

令和7年度公的職業訓練効果検証ワーキンググループによるヒアリング結果等及び改善促進策（案）の概要

労働局番号	労働局名	(a) 検証対象の訓練分野	ヒアリング概要			(e) ヒアリング以外の手法での効果検証	(f) 訓練カリキュラムの改善促進策（案）の概要
			(b) 訓練実施機関からの主な意見	(c) 訓練修了者からの主な意見	(d) 訓練修了者を採用した企業からの主な意見		
35	山口	IT分野	<p>◎訓練中は、補講や確認テスト、単位制の導入など、学習の定着や就職支援に向けた工夫をしている。</p> <p>◎訓練の初めに「この訓練は就職のためのものである」と明確に伝えることで、訓練生に意識づけを行っている。</p> <p>◎「委託訓練や求職者支援訓練に対する企業側の認知度が低く、有料の講座だと思われる。」など、企業への周知の必要性を指摘</p> <p>この指摘を踏まえ、労働局ホームページでの企業向けのホームページ新設やハローワークにおける「職業訓練修了者歓迎求人」などによるマッチングの強化を検討</p>	<p>◎エクセルや情報セキュリティの知識が実際の仕事で役立っており、「マクロを使って業務改善を提案したい」という前向きな意見があった。</p> <p>◎一方、「ウェブデザインやVBAなどのスキルは、今の職場では活用はない。」という声があり、「将来的には生かしたい」といったような中長期的な姿勢が確認できた。</p> <p>◎接客や対応スキルについて、これまで学ぶ機会がなく、訓練で学べてよかった。実際の職場でとても役立っている。という声が多く、訓練の実践的な効果が見て取れた。</p>	<p>◎訓練を身につけたスキルのうち、エクセルのデータ分析や情報セキュリティの知識、ビジネスマナーなどが実際の業務に役立っているなどの評価あり。</p> <p>◎プログラミングやウェブ関連のスキルについて、現時点で必要な場面はないが、将来的には業務の効率化やデジタル化を進める上で期待しているなどの声があった。</p> <p>◎接客対応やコミュニケーション能力といった、いわゆる人間力についても企業から高く評価されている。</p>	◎特になし	<p>◎訓練カリキュラムや就職支援の取組に関して、訓練修了者及び採用企業双方から、概ね高い評価を得ており、訓練が実際の就職につながっていることが確認できたものの、IT人材としての採用事例は確認できなかった。</p> <p>県内ではITスキルを専門的に活用する企業が依然として少なく、訓練実施機関からは「実務経験のない方がIT人材として働くには、都市部での就職を選ばざるを得ない」という意見もあった。</p> <p>◎一方で、先ほど報告があった「山口県中小企業団体中央会」の調査によると、約8割の中小企業がDXやデジタル化に取り組む人材に求めるスキルとして、デジタル技術に関する基礎知識を掲げていることから、現場で即戦力となる基礎人材の育成が強く求められていることを示していると史料される。</p> <p>◎今後のカリキュラムの改善について、AIは、業務効率化や情報整理など日常業務でも活用が広がっており、IT分野ではより深く、また、IT分野以外の分野でも、AIの基礎知識や活用方法を学ぶ機会を設けることが重要と考えられ、今後、先行事例を参考にAIの基礎理解から業務活用までを段階的に導入することを検討していく。</p>

【記入要領】

(a) 検証対象の訓練分野

令和5年度の検証対象となった分野について記入すること。

(b) 訓練実施機関からの主な意見

訓練実施機関からヒアリングを行った以下の(1)～(4)の内容のうち、①訓練効果が期待できる内容及び②訓練効果を上げるために改善すべき内容として整理した意見について記載すること。なお、(4)の質問に関する意見を記載する場合、質問内容についても記載すること。

- (1) 訓練実施にあたって工夫している点
- (2) 訓練実施機関が行っているキャリアコンサルティングの状況
- (3) 訓練実施にあたっての国への要望、改善して欲しい点
- (4) その他協議会独自に追加した質問項目に対する意見

(c) 訓練修了者からの主な意見

訓練修了者からヒアリングを行った以下の(1)～(4)の内容のうち、①訓練効果が期待できる内容及び②訓練効果を上げるために改善すべき内容として整理した意見について記載すること。なお、(4)の質問に関する意見を記載する場合、質問内容についても記載すること。

- (1) 訓練内容のうち、就職後に役に立ったもの
- (2) 訓練内容のうち、就職後にあまり活用されなかったもの
- (3) 就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキル、技能等
- (4) その他協議会独自に追加した質問項目に対する意見

(d) 訓練修了者を採用した企業からの主な意見

訓練修了者を採用した企業からヒアリングを行った以下の(1)～(4)の内容のうち、①訓練効果が期待できる内容及び②訓練効果を上げるために改善すべき内容として整理した意見について記載すること。なお、(4)の質問に関する意見を記載する場合、質問内容についても記載すること。

- (1) 訓練により得られたスキル、技能等のうち、採用後に役に立っているもの
- (2) 訓練において、より一層習得しておくことが望ましいスキル、技能等
- (3) 訓練修了者の採用について、未受講者(未経験者)の採用の場合と比較して期待していること(同程度の経験等を有する者同士を比較。採用事例がない場合は想定)
- (4) その他協議会独自に追加した質問項目に対する意見

(e) ヒアリング以外での手法での効果検証

例えば、webアンケートの実施やハローワークシステムを用いた定量的な効果分析等、ヒアリングに加えて独自で実施している内容があれば記入すること。

(f) 訓練カリキュラムの改善促進策(案)等の概要

(a)～(e)を踏まえ検討し、協議会への報告事項として整理した内容を記載すること。

なお、整理に当たっては可能な限り、定量的根拠に基づき整理すること。